

2016年度 第2回学術講演会

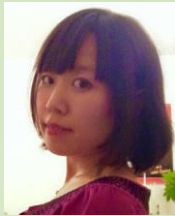
講師：檜山智美氏

(日本学術振興会SPD研究員／
本学仏教文化研究所客員研究員)

日時：2016年6月2日(木)
17:45～19:15

会場：大宮学舎西翼2階大会議室

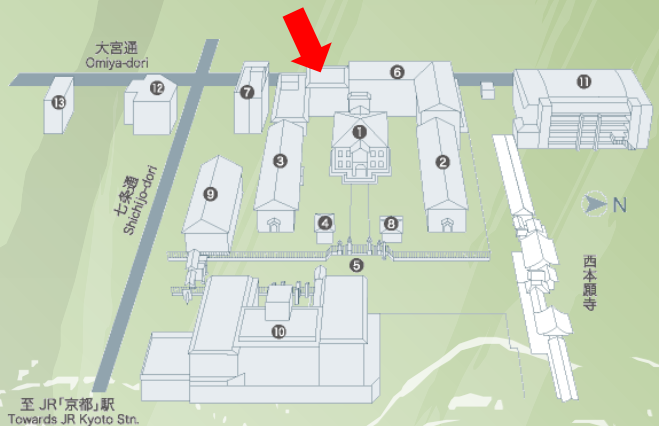
檜山智美博士 (Dr. HIYAMA, Satomi)



東京、北京、ミュンヘン、ベルリンにおいて、美術史、考古学、インド学および比較文化学を学ぶ。2014年に、ベルリン自由大学で博士号を取得した後、ルートヴィヒ・マクシミリアン大学ミュンヘン

およびフィレンツェ・ドイツ美術史研究所のポストドクター研究員を経て、2016年より日本学術振興会SPD研究員、龍谷大学仏教文化研究所客員研究員。専門は、中央アジアの仏教壁画。主要な論文に、“A New Identification of the Murals in Kizil Cave 118: The Story of King Māndhātār” 等がある。

一般
来聴
歓迎



至 JR「京都」駅
Towards JR Kyoto Str.



図像学

亀茲国の 仏教石窟壁画の

